

## 令和7年度第2回幕別町創生総合戦略審議会議事録

### 1 開催日時

令和8年2月27日（金）18：30～19：20

### 2 開催場所

幕別町役場3階 会議室3－A B

### 3 出席委員（16名）

笹井会長、山下委員、勝井委員、堀川委員、原田委員、宮田委員、高道委員、浦島委員、久保委員、川口委員、土井委員、齊藤委員、堀委員、大和田委員、金野委員、森田委員

※ 佐々木委員、山本委員、青木委員、藤井委員は欠席

### 4 審議

(1) 第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価について

### 5 事務局出席者

企画総務部長		山端	広和
“	政策推進課長	宇野	和哉
“	“	副主幹	中田 周呼
	“	主査	鷺見 駿樹
	“	主査	柴谷 隆次

### 6 傍聴者

1人

## 7 議事録

(笹井会長)

大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございました。

創生総合戦略では、幕別町人口ビジョンで示した2060年人口推計の1万9457人を維持することを目標とする、となっていました。

今日たまたま新聞を見たんですけども、幕別町新年度予算の中で、いかに若い人に住んでもらうかが最重要課題であると。また定住対策や、子育て支援に重点を置いて実施していくという町長のコメントがありました。町のこれからのあり方というのは、人口対策ですとか、少子化対策ですとか、定住対策とか、それがメインになってくるのかなという気がしています。

また一方で国の方の人口動態統計の速報値も出てまして、これを読みましたら、外国人を含む2025年度の年間出生数が70万5890人で、10年連続で過去最少を更新しているというところであるそうです。また一方で、東京都と石川県のみは前年から出生数が増加したということで、東京はいろんな施策があってその結果が出たのかなと思ってるんですけど、石川県も、正直な話、どういうふうなことをしてそういう数字になってきたのかなというようなことも思いました。国立社会保障・人口問題研究所によりますと、将来推計よりも17年早く少子化が進んでるといふ、ちょっと、驚きというか、危機感を持つような数字が出ているようなことでありました。

先日ちょっと子育て世代のお母さん、ママさんで、いろいろと活動していらっしゃる方の講演会を聞くことがありまして、ちょうど同じ世代の、いわゆる3歳5歳児ぐらいのお子様を持つママさんを集めて、いろいろな悩み事相談だとか、そういうママさんの居場所を作る活動をしていらっしゃる方の講演会でありました。

その方も元々は大阪に住んでいらちゃって、3人のお子さんを持ってということで、いろいろな事情で移住先を探して、いろいろな形で旅行していた中で、たまたま十勝のある町村に来たときに、その出会った人の優しさに触れたと言って。1人や2人じゃなくて出会った方、皆がすごい優しくて、いい人で、すごいほっこりする気持ちになるということで。そこに一緒に行動してたお子さんも、ここだったら住んでみたいってというようなことがあって、大阪から移住を決断したというお話を聞きました。

行政とかでいろんな施策をしますけども、それも1つだし、そこに住む人たちの、気持ちの持ち方というか優しさをいかに表面に出すか、出会う人たちにそういう優しさで接するかっていうのも、1つのきっかけになるのかなというような気がしました。

ちょっと他愛もないお話で申しわけないんですけど、そういうこともあって自分もこれから、今まで以上に、出会った人に優しく接していかないといけないのかなというような気持ちを持った次第でありました。

本題に戻しますが、本日の議題は第2期総合戦略の総括評価でありまして、すでに第3期総合戦略は策定済みでありますので、総合戦略の内容についてご意見をいただくということではなく、第2期の成果と課題を振り返りながら皆様の忌憚のないご質問をいただくような内容になると思います。よろしく願いいたします。長くなりましたけども、挨拶にかえさせていただきます。今日はよろしく願いいたします。

(企画総務部長)

笹井会長ありがとうございました。

本日の会議の出席委員につきましては、委員20名中欠席者が4名、出席は16名ということで、過半数に達しているため会議が成立していることをご報告いたします。ここからの議事進行につきましては、笹井会長にお願いいたします。

(笹井会長)

それでは議事に入りたいと思います。「第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価について」について、事務局から説明をお願いいたします。

(政策推進課副主幹)

事務局から第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価についてご説明いたします。まず、お手元に資料3の1ページを一部修正したものをお配りしておりますので、お手数ではございますが差し替えていただきますようお願いいたします。

それでは資料1「第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略総括表(案)」の1ページをご覧ください。

幕別町では令和2年3月に第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、将来的な人口減少社会の克服や、持続可能な地域づくりの実現に向けて、取り組みを推進して参りました。

総合戦略の推進に当たりましては、基本目標ごとに数値目標を設定するとともに、具体的な施策ごとに重要業績評価指標、いわゆるKPIを設定いたしまして、進捗状況を管理する

とともに、その効果を評価検証し、必要に応じて戦略を改訂するなど、その実効性を高めるため、毎年本審議会におきまして、取り組み状況などを報告してきたところでございます。

昨年度第2期総合戦略の推進期間が終了したことに伴いまして、推進機関全体を通じた取組の成果や課題を総合的に評価検証し、今後の地方創生の推進につなげるため、この度、総括評価として取りまとめたものでございます。

2ページをご覧ください。

こちらは総合戦略の評価体制を示したものであります。庁内の評価体制といたしましては、町長を本部長として、副町長、教育長ほか、関係部長職で構成する「幕別町地域創生人口減少対策推進本部」において協議をしてきたところでございます。

3ページをご覧ください。

こちらは第2期総合戦略における、人口ビジョンで示しました令和7年と令和32年の人口推計値を示したものであります。

人口ビジョンは、町の人口の現状を分析し、人口に関する地域住民の認識を共有するとともに、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものであります。

令和7年の推計値は、26,003人、令和32年推計値は21,225人としていたところでございます。

4ページをご覧ください。

こちらは、人口ビジョンで示しました将来人口の推計値と実績を比較したものであります。令和7年3月31日時点の本町の人口は25,079人だったのに対して、人口ビジョンでの推計値は26,003人と、924人下回る結果となりました。

この結果から、今後は、国立社会保障・人口問題研究所、社人研と言いますが、こちらが示した、推計値に近い数値で推移する傾向にあると考えております。

続いて5ページから7ページまでは、幕別の総人口、地区別合計と、地区別の人口、合計特殊出生率の推移を示しております。前回の審議会におきまして、過去10年間の実績をお示ししておりますので、詳細は割愛させていただきますが、合計特殊出生率の推移について補足させていただきたいので、7ページをご覧ください。

2024年の幕別町の出生数は113人、また1人の女性が生涯に産む子どもの数に相当する、合計特殊出生率は1.10と、いずれも過去最低となりました。

先ほど笹井会長から2025年の人口動態推計の話題がありましたが、参考に2024年の国内の出生数はおよそ68万人でありまして、1899年の統計開始以降初めて70万人を下回り、9年連

続で過去最少を更新しております。

また、国が取りまとめた報告書によりますと、少子化の主な原因を3つ挙げておりまして、1つ目は、未婚化、2つ目が若い世代での未婚率の上昇や、初婚年齢の上昇による晩婚化。3つ目は、有配偶出生率、いわゆる結婚した夫婦の子どもの数の低下について言及しております。

町では、少子化の要因等を分析するための町独自の調査は実施していませんので、あくまでも推計の域は出ませんが、少子化はこれらの要因が複雑に絡み合った結果であると考えております。

続いて9ページ、10ページをご覧ください。

こちらは基本目標ごとに設定しました数値目標に関する評価検証の結果をまとめたものがあります。達成率100%を超えた指標は、基本目標1の「納税義務者となる法人数」と基本目標2の「観光客入込者数」の2指標、一方で達成率50%に満たなかった指標は基本目標2の「社会増減数の均衡」と基本目標4の「転出者数の抑制」の2指標となりました。

続きまして11ページ、12ページをご覧ください。

ここから、基本目標ごとに具体的施策に関する評価検証結果をまとめております。11ページに、KPIの検証結果をまとめておりますが、基本目標1「産業の振興と雇用の場をつくる」につきましては、達成率100%以上が4指標、50%以上が5指標となりました。

12ページに具体的な取り組み内容と評価結果をまとめておりますが、総括評価といたしましては、スマート農業機械の導入支援や、施設整備・機械更新の補助、また、学校給食への地場産物の供給体制の強化などによりまして、基幹産業の強化に関する指標は高い達成度を示した一方で、新卒者の町内就職者や創業支援に関する指標は目標に届かなかったことから、総じて産業の稼ぐ力は評価されたものの、人口減少や少子高齢化等に伴う人材不足が、今後の大きな課題であると考えております。

続いて13ページ、14ページをご覧ください。

基本目標2「十勝・幕別への人の流れをつくる」につきましては、達成率100%以上を超えた指標はなく、50%以上が5指標ある一方で、空き地・空き家バンク成約件数が0となるなど、総じて達成率が低い指標結果となりました。

総括評価といたしましては、住宅取得や空き施設改修支援などの施策が連動し、20代から30代の子育て世代を中心として、転入超過がみられるなど、新しい人の流れを生み出す取り組みは一定の成果を上げましたが、人口減少の大きな流れを反転させるほどの規模には至らず、関係人口の定量的な評価・フォローアップの仕組みづくりが今後の課題であると考えて

おります。

続いて15ページ、16ページをご覧ください。

基本目標3「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」につきましては、達成率100%以上が2指標、50%以上は2指標、1%以上が2指標となりました。

総括評価といたしましては、待機児童発生の抑制に向けた取組や、高校生までを対象とした医療費の助成など、子どもを産み育てたいと望む方々の希望をかなえるための支援メニューや体制は着実に整備された一方で、少子化の大きな流れの中で出生数の減少が続いており、人口動態の改善には至っていないことから、今後は、各段階に応じた支援を一層強化するとともに、若い世代が将来像を描きやすい就労環境等を整備し、結婚・出産・子育てを希望する人が実現しやすい地域づくりが重要と考えております。

続いて17ページ18ページをご覧ください。

基本目標4「安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる」につきましては、達成率100%以上が3指標、50%以上が4指標となりました。

総括評価といたしましては、防災・減災対策や生活基盤の維持管理は概ね計画通り進み、住民の安全・安心の確保に一定の成果がみられました。また、公共施設や地域交通に関する施策の推進により、日常生活の利便性向上にも寄与したところであります。

一方で、社会基盤の老朽化や人口減少に伴う地域交通の維持、地域の担い手不足などの課題に対して、今後デジタル技術など新たな手法を取り入れながら、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりが重要と考えております。

19ページをご覧ください。最後に第2期総合戦略の総括をまとめております。

第2期総合戦略による推進した取り組みは、地域産業の振興、子育て支援の充実。健康づくりや地域コミュニティの活性化など、本町の地方創生に一定の寄与をしているものと考えられ、特に子育て環境の整備や農業を中心とした地域産業の強化に関する取組は一定の成果を上げることができました。

一方で、先ほど示しました第2期人口ビジョンで示した将来人口推計と比較しますと、本町の人口はそれを上回るペースで減少が進み、合計特殊出生率は北海道を上回る数値で推移しているものの、年々低下している現状にありますことから、若年層の定住促進、地域産業の担い手の確保、若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶えるための施策は、今後も重点的に取り組むべき課題となっております。

これらの成果と課題を踏まえまして、今後の地方創生の推進に当たりましては、これまでの取組をさらに深化させるとともに、社会構造の変化や地域の新たなニーズに的確に対応し

ながら、引き続き持続可能な地域づくりに向けた取り組みを着実に進めていくとまとめております。

なお資料2の数値目標及び重要業績評価指標の達成状況と、資料3の令和6年度実績報告書については、後程ご確認いただければと思います。事務局の説明は以上であります。

(笹井会長)

ありがとうございました。皆様からご質問を受けたいと思いますが、何かございますでしょうか。

(堀川委員)

今、ご説明をいただきました、人口が3ページによると令和7年、26003人から、実際には2万5079人と、思った以上に人口減が進んでしまって、ちょっと僕もショックを受けたんですけど。

総人口の推移としては皆さん頑張られている中で、減っていくのはしょうがないんだと思うんですけど。昨年、国勢調査があったと思うんですが、これらの他に産業別、例えば1次産業2次産業3次産業の産業別人口の直近や推移なんか可能であれば、教えてもらえたらなと思いました。せっかく生産年齢人口も分けてお示しいただいてるので、教えていただけたらなと思いました。

13ページですね、基本目標の2番目で上から2項目目「スポーツ合宿・大会受入者数」ですか、交流人口の増加を掲げて、基準値299人から目標値450人に対して、実績としては58人。これは慶應野球部の関係だと思うんですけど、これもちょっと苦しい数字で終わってしまったのが残念かなと思うんですけど。今後の見通しを伺えたらなと思いました。

下から2番目の、僕も何回もお話させてもらってます「空き地・空き家バンク成約件数」ですね。これまで大分たまっていたものが、捌けてきてしまったというところもあるかと思いますが、残念ながら令和6年実績では0件。これは空き地・空き家がなかったからだとすれば、良いかなと思いますけど、そうじゃない結果だとは思いますが。これも工夫や努力が必要なんじゃないかなというふうに思いましたんで。

重ねて申し上げましたけど、宅建協会も、協力できる体制でありますので、何かあれば、お声掛けいただければありがたいかなと思いました。

それから、17ページ基本目標4、町内コミュニティと行政との関わり合いでいくと、上から2番目の「自主防災組織の人口カバー率」もそうですけども、5番目「協働のまちづくり支援事業の交付金の交付件数」も概ね目標通りの推移で、ここに至るまでいろんな工夫されたと思うので、何か考察されるものがあれば、教えていただけたらなというふうに思いました。

6番目、「まちづくり出前講座開催回数」ですが、コロナの影響もあって、人が集まる場面が減ったのかもわかりませんし、あるいはネットなど情報の発信媒体が変わって、出前講座じゃなくなったのかもわかりませんが。発信すべき事柄だとか、その取組が減って見える面もあると考えられたので、町側はどう捉えたか伺いたいと思いました。

総括されましたけど、近年AIの活用が叫ばれている中で、行政にとって、このAI活用の方法、分野、その辺は資料からちょっと読み取れないものがあるので、絡められるものそれから、そういった人材とのかかわり合いなど、もしお考えがあったら伺いたいなというには思いました。

答えられる範囲で結構ですので、よろしくお願いします。

(政策推進課副主幹)

私から産業別の就業者数について報告いたします。

第2期、令和7年2月に改定しました人口ビジョンにおいては、国勢調査のデータから産業別就業者数を記載しているところで、喫緊で国勢調査の報告がないとこの数字の集計ができないものですから、この評価表への反映は難しいと思っております。

次回もしくは来年度の審議会においてですね、ご指摘があった内容を踏まえまして、産業別人口の経過、前回と比較してどうだったかというところは、お示しできるかなというふうに思っておりますので、そういった対応をさせていただきたいと思えます。直近では令和2年時点でのデータが最新になっておりますので、令和7年国勢調査の結果が令和8年中に出れば、そことの比較ができるかなと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(政策推進課長)

それでは私の方から、もし抜けてるのがあったら教えてください。

まず2つ目にいただいた、13ページの「スポーツ合宿・大会受入数者数」について、目標値450人に対して58人と実績が少なくなった要因等と今後の見込みを合わせてということだったんですけれども。

第2期の期間中に大きく減った要因の1つ目標として、大きく減った要因の1つは、サッカーのクラブユースの大会等で、チームですとか、観戦者ですとか、そういった方達の減少というのが大きな要因だったかなということは考えております。今、スポーツ合宿誘致の実行委員会の皆様とも、慶應だけじゃなくその他のスポーツ合宿ですとか、いろんな可能性等を検討し、それに応じていろんな方策を考えていきますので、この後、できる限り関係人口、交流人口の増加という意味では、いろんな方策を考えていくべきかなと思っています。

具体的なものは、ちょっとまだ申し上げられませんが、それこそ明後日にパラスポーツのイベントもありますし、いろんなことを手がけていながら、交流人口の増加を目指していければいいと思っています。

それから、次の「空き地・空き家バンク成約件数」、13ページの下から2つ目ですね。堀川委員の方からも、何度も宅建協会も協力できることがあるとお話をいただいています。昨年の終わり頃になりますけども、空き地・空き家バンクの全国版を利用したり、今までのやり方はPRという意味では、移住する人が幕別町のストックにどんなものがあるか探しにくかったということは、自覚しなければいけないところだと外部の人からも同じような意見をいただいたところですよ。

新年度はそういったところも含めて、空き地・空き家対策だけではなくて地域活性化を重要プロジェクトとして町で位置付けて、空き地・空き家バンクも商店街活性化も含め、いろんな方策をとって検討していきたいと思っています。その中で、宅建協会さんをはじめ、民間の方ですとかにご協力ご支援いただくこともあろうかと思っていますので、またよろしくお願ひしたいと思います。

その次の17ページ、町内コミュニティの関係ですね。「自主防災組織の人口カバー率」の目標に対して実績は低いけれども達成率が徐々に上がってきているというところに関しては、担当の方で町内会の組織等に働きかけながら、1件2件という数ではありませんが着実に増えてきているのが現状かなと思っています。今後とも防災マネージャーという専門的な経験や知識を持った職員を中心として、自主防災組織の設立に向けて、動きを加速化させていきたいとは考えております。

またですね、「協働のまちづくり支援事業交付金交付件数」ですが、目標値に対して、100%以上の達成があると。これらもですね、こういったものが町内会活動として必要とされているのか見直しを進めながら、どんなメニューが適切なのか、使われてないものはどのように変えていったらいいのか、担当の方で検討しながら進めているところでありますので、今後とも町内会活動が促進されるように検討を続けたいと考えています。

「まちづくり出前講座開催回数」ですが、比較的たくさん要望があって、町内会ですとか、老人クラブですとか、任意の団体ですとかに呼ばれて行っていますが、例えばイベントに付随して担当がお話したですとか、出前講座にカウントされない機会も増えてきたのかなと現実的には考えているところです。回数自体は減ってみてはいるんですけども、令和7年度の実績をみてもかなりの数行っていますので、今後とも要望があれば、積極的にこちらの方から情報発信していきたいと思います。

情報発信の方法にどう変化があったのかという話ですが、令和7年の3月に、ホームページリニューアル、また、防災LINEアカウントと統合して公式LINEアカウントもオープンして、町の情報を一括してLINEで流しているというような状況で、お友達登録も徐々に増えてきてます。目標としては7,500人とかになればいいなと思っているんですけど、はじめ2,000人ぐらいで、3,000人はもう超えてまして、徐々に登録を増やして、町民の皆様には有益な情報を発信できればと考えています。

最後に、AIについて資料から読み取れないというようなお話でした。現場ではあらゆる場面で活用はさせていただいています。行政以外で町の動きの中としては、スマート農業とかのAIっていうところは、これからになってくるところも多いかと思うんですけども。あらゆる場面でデジタル化というのは進めていまして、この会議とは別に、行政改革の会議の中でもAIの話が出ました。積極的に使えるものは使っていて、コストを削減して様々な分野での負担っていうのは、これからAIの力を使って減らしていかなければいけないのかなと思っていますし、職員向け研修会の開催、それから外の研修を受けるということもやっていますので、これからAIの力は、うまく使っていかなければいけないのかなと思っています。

(堀川委員)

すみませんたくさんありがとうございます。

スポーツ合宿や大会の誘致に関しては、去年、東京幕別会の方に出向いたときに、慶應大学の他の部活のところにも様子を伺いには行って参りました。やっぱり昨今の物価、旅費交通費の高騰もあるので、どちらかというと言裕層に近い方々であったとしても、あまり北海道まで足を運んでもらうとなると中々大変。とはいえ、最近の猛暑の中では、大体、春、秋が、学生リーグだとすると、秋リーグの前に夏合宿を北海道ですするというのは、自分も体育会系でしたけど、長野で合宿とか結構したので、やはり北海道も選んで欲しいなというのがあって。あと、ゼミやサークルの合宿なんかでも使って欲しいなということで、そういった学生部関係も寄ってきたんですけど。その辺は幅広く動いていきたいなという中で、またご相談に乗ってもらいたいなってちょっとあったものですから。目標はこれがいいかどうかは何とも僕は言えませんが、少しでも交流があって幕別町という名前、それからその物産を知ってもらうというのは、1つ大事なことになるので、これは継続してやっていくという価値は十分あるのかと思いますので、ご支援をいただければと思いますし、お互い協議し合って進めていきたいなと思いますので、ぜひご相談に乗っていただきたいと思いました。

それから空き地・空き家バンクに関しては、先ほど、僕らも協力体制があるということも申し上げましたけども。ちなみに最近ですね、リスキリングじゃないですけども、役場職員の中で宅地建物取引士の試験を受けるとか、合格者はいらっしゃいますか。うちの叔父が役場に勤めていたときには、現役の中で受かっていたので、いろんな知識を広げる中でそういうことに取り組むというのも、職員の能力と資質としてはですね、求められる部分でもあるのかなというふうに思ったので、ちょっとその辺を伺いたいなと思いました。

A1に関しては了解しました。時代なので、いろんな形がきっと出てくるとは思いますし、民間としてもですね、取り組まなきゃならないのはあるんですけど、どうしても現場なので、人手に頼るところがあるんですけど。そういったことで作業効率や、生産性が上がるのであれば、対応してもらいたいなと思います。

とはいえ町の幅広いニーズにA1で答えていくのは中々難儀なことだと思いますので。町民の理解も、どこかしら得ながら活用してもらいたいと思って、そこはちょっと腐心していただけたらなとは思いました。お金がかかるからないはあるので、その辺の判断はお任せはしますけれど。地方創生という流れの中で、ぜひ、取り組んでもらえたらなというふうには思いましたので、よろしくお願ひします。

(政策推進課長)

ありがとうございます。

1つ目の合宿の誘致の多分財政的な支援とかということになると思うんですけども。そういうのも含めて、いろいろ実行委員会の皆様とも、お話し合いをしていきながら、やっぱり財政の話になってしまうと、すぐに言えないんですけども、話し合いをしながら進めていきたいと思います。

宅建含め不動産、空き地・空き家の関係の資格ですけども、今はいなかったと思います。今後の動きとしては、新年度から新しく、空き地・空き家対策の地域おこし協力隊を増員する予定でもあり、現隊員も、そういった資格取得に意欲を示していて、取得していたり、あるいは資格を持ちながら、地域おこし協力隊に応募していただけるといった方も出てきている状況です。職員では中々、資格取得の時間とかそういったものに向かえないという場面であっても、こういった地域おこし協力隊とか、外からの移住される方の力も借りながら、進めていければいいなと考えています。

最後のA1ですけども、私もちょっと使ったりしてるんですけども、ちょっと恐ろしいほど簡単に出てしまうために、本当に信じていいかというようなところもあったり、住民の皆様にもA1でやりましたということが受け入れられるかというのも、今後のデジタル化の中では、すごい重要なことになってくるのかなと思っています。

行政でも、A1化が適さないものとか、民間の業種でも中々使えないよねということもあるかと思いますが、そういったところは適切に判断しながら進めていければいいかなというふうに考えております。

(笹井会長)

ご質問等ある方いらっしゃいませんか。

(堀委員)

7ページの、幕別町の出生率だけ、2018年と2020年がちょっとジグザグで飛びぬけていて。人口とかを見ても、この年は特に多かったというわけではなさそうだなと思ったのですけれども、ちょっとこの年度は違う状況だったとかいうことはあるのかなと。

(政策推進課長)

私がたまたま前任が保健課長だったので見てましたが、数字的には何故か出生数が、隔年で増えたり減ったりする傾向にありました。令和4年が増えていけば、その傾向はまだ続いてたのかなと思うんですけども、ちょっとジグザグの割には令和4年から下降気味になってます。

ただですね、令和7年の実績がまだ最終的に出てませんけれど、120から130ぐらいの数字になるんじゃないかというところもあって、ライフスタイルとかそういったものに影響されてるのかなとは思いますが。一方でこの特殊出生率が上下してることに关してはその年代の女性の数だとか色んなことに左右されてしまうので、はっきりと申し上げられませんが、出生数に关しては、今までの傾向だとこの隔年で増えたり減ったりっていうのを繰り返しています。言ってしまうとたまたまなのかもしれませんけれども。

(堀委員)

ありがとうございます。これまでに続けている、子育ての応援の部分が、ちょっとでも出てきていたりするのかなと思って、お聞きしました。

(政策推進課長)

堀委員がおっしゃられたように、なかなか今の自然妊娠とかが、非常に難しくなってきた中で、わが町としても、特定不妊治療の中の先進医療への助成を始めたりですね、妊娠に向かう、希望する方が、子供を産みたい育てたいという環境にはできてきているかなと思っていますので、そういったところでは良い傾向にあるのかなというのは考えています。

(笹井会長)

本日の議題は以上ですべてとなります。言い残したことがある方がいらっしゃいましたら、よろしいですか。それでは議題の方は以上で終了させていただきます。事務局の方から何か連絡ありましたらお願いします。

(政策推進課副主幹)

事務局から2点、連絡事項を記載いたします。

1点目は本日お示ししました総括評価書の公表についてであります。本日皆様からいただきましたご意見等を踏まえ3月中に成案といたしまして、町のホームページに公表する予定としておりますので、ご承知おきいただければと思います。

2点目は、委員の変更についてであります。今後、人事異動等に伴いまして、4月以降変更が伴う委員におかれましては、事務局までご一報いただければと思います。事務局から団体宛に推薦の依頼文等を送付させていただきますので、お手数おかけしますが、引き継ぎや手続き等よろしく申し上げます。事務局からは以上でございます。

(笹井会長)

以上で終了とさせていただきますがよろしいでしょうか。

ありがとうございました。それでは、今雨降ってまして滑るかもしれませんので、帰りの際にはご注意をいただきますようお願いしまして、本日の会議を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。